

第84回日本衛生学会学術総会を終えて

川崎医科大学 衛生学 大槻 剛巳 (6期)

「晴れの国 岡山」の呼称の通りには、青空は広がらず、雨模様～曇り空の2014年5月25～27日に、川崎医科大学同窓会のご支援も受けながら、第84回日本衛生学会学術総会を開催させていただきました。本当にありがとうございました。

今回のテーマは「凝視めれば、愛」！ あはは、あまり学会のテーマとしてはそぐわないでしょうか？

学術総会WEBの開催挨拶から抜粋しますと『衛生学というのは、文字通り「生を衛る」学術領域ということですが、対象領域によって人間や環境や、健康などを取り扱っております。そして、世の中の人々が健康の障害なく天寿を全うするようにと願う学問領域でもあろうと考えております。これらの根幹にあるものは、それは「愛」でしょう。環境への、健康への、そしてすべての人々への「愛」あればこそ「生を衛る」学問が成就していくのだと思っております。改めて、会員の皆様、ご参加の皆様と「愛」を「凝視める」ことで、衛生学の学術の発展に寄与貢献できれば、という願いを込めてみました。ポスターやWebでご覧いただいております様に、少女の見つめる視線の先に「愛」あればこそ、です。』という意味合いです。

紹介のついでに、会長の挨拶の続きを転載させていただきます。

『学術総会のプログラムとしては、コンパクトですっきりとした企画を心がけました。特別講演は海外からの招聘講師の先生で2題。遠山理事長にご推薦を受けましたIARCのDr. Kurt Straif博士には癌予防とコントロールの最初のステップとしての癌の発生要因の検討について総説とともに具象としての胆道癌や電磁波の影響を、そしてICOHなどで大槻が知己でありますイタリアからの Prof. Mario Di Gioacchino 先生にはナノ毒性についてご講演いただきます。また、日本学術会議との合同シンポジウムでは、原発事故後の現状と健康管理について、市民公開講座として開催いたします。さらに作家・村上龍氏が「健康科学を語る」という映像を、これも市民公開として会期中、放映することにいたしました。「愛」を学術の面から、そして文化も含めた人々の社会の中から凝視めることができればと思っております。会員あるいは連携研究会からのご提案で多くの素晴らしいシンポジウム、そして自由集会も設けさせていただくこととなり感謝しております。それとともに、昨年度から始まりましたMorning Lecture でも、朝食をとっていただきながら、学会本番プログラムのWorning & Waking Upとしてお楽しみいただければと思います。また、会場ではタブレットやスマホで講演集を見ていただきながら、会場の移動なども簡便にできるようと思っております。昨年の次期会長講演ではun-official な日本衛生学会テーマソング候補曲の映像を紹介させていただきました

予防医学 week in OKAYAMA

第84回
日本衛生学会学術総会

凝視めれば、愛

会場：岡山コンベンションセンター(マカリアオーラ)

日程：5月25日～27日

大槻 剛巳 (川崎医科大学 衛生学)

岡山コンベンションセンター

後援：岡山県、岡山市

2014年 5/25(日) 16:00～18:00

岡山コンベンションセンター(岡山県北区新元町14-1) (マカリアオーラ)

放射線被ばくと健康管理

東京電力福島第一原子力発電所事故による放射線被ばくと健康管理

講演者：大槻 剛巳 (川崎医科大学 衛生学)

水産物の放射能汚染状況

放射線被ばくと健康管理

染色体解析による福島県浪江町被災住民の初期被ばく検査

福島県民の健康状態 -福島県(県民健康調査)結果もふまえて-

リスク・コミュニケーションをめぐる現状と課題

講師：大槻 剛巳 (川崎医科大学 衛生学)

会場：岡山コンベンションセンター(マカリアオーラ)

TEL: 086-851-5555 FAX: 086-851-5370

TEL: 086-850-2392 FAX: 086-850-2372

予防医学 week in OKAYAMA

第84回 日本衛生学会学術総会

凝視めれば、愛

日程：5月25日～27日

大槻 剛巳 (川崎医科大学 衛生学)

岡山コンベンションセンター

第87回 日本産業衛生学会

日程：5月21日～25日

萩野 景規 (岡山県立大学 衛生学)

市民公開ビデオ放映

会期中(5月25日～27日)

予約不要・入場無料

ロングインタビュー・ビデオ放映

「作家・村上龍 健康科学を語る」

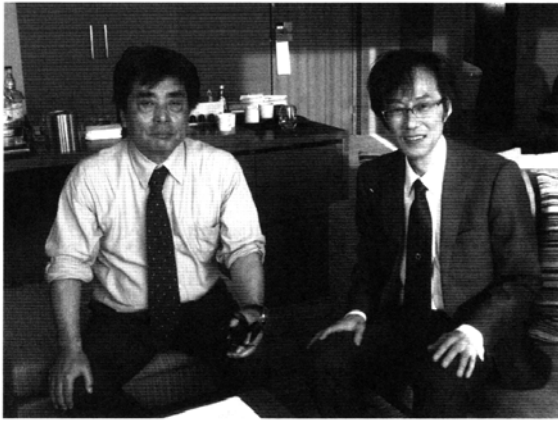
岡山コンベンションセンター(マカリアオーラ)

岡山県北区新元町14-1

TEL: 086-851-5555 FAX: 086-851-5370

TEL: 086-850-2392 FAX: 086-850-2372

日本学術会議ホームページ <http://www.sjg.jp>



が、できれば、今回の学術総会でもリズムとハーモニーと躍動するメロディーに溢れる学会にしたいと思っております。お楽しみいただけましたら幸いです。』といった感じでした。

既に紹介したこともあったかも知れませんが、学会のポスターも上の方を凝視める少女の顔。ご存知の先生もいらっしゃるかも知れませんが、2006年に第13回日本免疫毒性学会学術総会を開催してから、いくつかの学会や国際シンポジウムの会長を務めさせていただきました。ポスターやWEBのデザインの中で、少女の顔写真を使ってきましたが、もちろん、愛娘！よくご存知の先生からは「成長の記録だね」っ

て仰っていただきますし、これまでの学会主催では縁遠かった先生からは、「あれ、そうなの？ はっきり云って、親バカだね」って突っ込まれてしまいました。まあ、確かにどちらのご指摘も正解！ いいじゃないですか。これもまたひょっとして家族愛で、「凝視めれば、愛」ですよ(*∇*)。

今回、市民公開企画が2つありました。一つは、日本学術会議・日本衛生学会合同公開シンポジウム「東京電力福島第一原子力発電所事故による放射線被ばくと健康管理」、そしてもう一つは【対談 村上龍 x 大槻剛巳】「衛生学と、コミュニティ」で、このオリジナル対談の様子のビデオを会期中、放映し続けるとともに、そのシナリオ(実際の対談ではこれをもとに、アドリブを入れながら会談しました)の小冊子を配布いたしました。医学医療の中で「人」を凝視める時に、その「人」の社会や生活の背景まで含めて捉えないとならないことが言われ出して久しいですが、そういった観点には、文化や社会・経済を凝視める視点が必要で、それは村上氏の様な作家・随筆家のトップランナーとして30年以上も走り続けていらっしゃる方のご意見をこそ我々は知るべきではないかと考えた企画でした(本当は、ロング・インタビューの筈が、「対談」になってしまいました)。

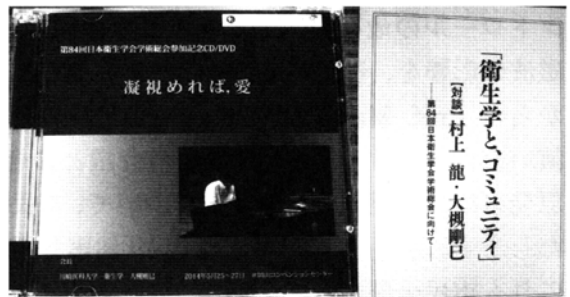
なお、これらの市民公開企画のPRに、岡山のケーブルTV「oniびじょん」のニュースワイドにも出演させていただきました。

この小冊子とともに参加者全員に配布させていただいたのが、日本衛生学会では会長を務める前年度の大会で「次期会長講演」を行うのですが、その際に盛り上げるためと思って製作して講演中に放映した(非公式)日本衛生学会主題歌2曲プロモーションビデオ(歌い踊る若者向けPOPな楽曲と、おじさんたち向けのバラード)をいれたDVDとともに、その音源に、大槻のオリジナル楽曲を含めたベスト盤オリジナルCDの2枚組。本当に趣味の世界ですが。

そして「凝視めれば、愛」とともに、学会が近付くにつれて「リズムとハーモニーと躍動するメロディーに溢れる学会」になればいいなあという想いも募ってきました。ですので、開会宣言は初日の夕刻、市民公開シンポジウムの会場で行ったわけですが、2日目朝には開会セレモニーとして「プチ・コンサート」を行いました。岡山在住の美人フルート奏者さんとご一緒して大槻のピアノとのDUOで2曲演奏しました。当日は生憎の小雨模様だったのですが、雨の後には「虹の彼方に、花は咲く」という選曲も良かった印象でした。



2014.5.14 第84回日本衛生学会学術総会の市民公開企画のPR





さらには、懇親会！ここまで来れば、懇親会でも大抵自身が演奏するしかないかつことで、かつ、どうしても懇親会での演奏は食事・歓談をしながらなのでなんとなく演奏者との距離感が生じてしまいます。しかし今回は「懇親会場をライブハウスに変身させる！」を目標に、福山で活動するすごくうまいバンドと岡山のミュージシャンと一緒に「Prof. Otsuki with the frogs feat. K15」をいうバンドで、アンコールを含めて5曲。日本のPOPSで誰でも知っている楽曲をベタに選んで、集まってくださった方々が一緒に歌えるように。そして演奏者もリズムアレンジなどを凝って、playerとしても楽しめるようにってことにしました。そして・・・目論見通り！なんと懇親会場は本当にライブハウス状態で、重鎮たちもクラップ・ステップ・シンギング、中にはダンシングの方もいらっちゃって、その一体感は演奏者にも伝わって、とっても楽しく演奏できました。ちなみに、アンコールでは、丁度来日していたけれど体調のために公演ができなかったあの人の健康回復を祈ってLet It Beにいたしました(Let It Goではありません)。

開催セレモニーのDUO, そし懇親会のバンド演奏はYouTubeにもアップしています。また衛生学教室のWEBにもリンクをつけておりますので、是非、お楽しみください。

そうそう、もう一つ面白い企画！総合受付のロビーに「会長と一緒に写ろう」って顔出し看板を設置しました。これがまた可也好評で！まあ、こんなのが設置してある学会ってないですね！！

そうそう、もう一つのこだわりは、シンポジストや座長の先生への御礼の記念品。大槻の郷里の京都府福知山市の実家のおとなりのイタリアン・レストラン「サリイズキッチンマーガ」さんのお菓子「寿豆南瓜」、東京や大阪での「京都菓子展」やJAL選定の通販メニューなどにも選ばれているとっても美味しいお菓子であり、かつこのお店では2013年夏に大槻はピアノ弾き語りライブもさせていただいたので、そういった事情も含めた大槻からのメッセージカードも添えて、お贈りさせていただきました。

会期当日は、本当にびっくりするくらいに、問題もなく経過しました。これは川崎医科大学衛生学ならびに公衆衛生学(副会長の勝山教授や、卒業生の山根先生にもお世話になりました)あるいは医用中毒学の先生方のご協力いただいたお陰ですし、また、担当してくださったコンベンション会社さんの担当の若き女性、Mさんの努力の賜物と本当に感謝しています。

終了後も、日本衛生学会会員には、学会のメールマガジンなどを介して謝辞をお伝えさせていただきましたが、実際にお話したことがこれまででなかった先生からも、そのメールマガジンへの返信として、日本衛生学会の事務支局に「いい学会だった」、「学会に行ってこんなに心が和んだことはなかった」、「気配りに溢れた学会だった」などなど感想を頂戴したり致しました。まあ、あんまりいい学会とお感じにならなかった参加者の方からは、メッセージは届かないのかも知れませんが、それでもこういった沢山のメッセージに感涙させていただきました。

最後になりますが、今回、私の同期前後の先生方には、個人的にご寄付をお願いし、多くの先生方からご協力を頂戴し、それがあってこそなんとか盛会裏に終了することが出来たと強く感じております。それぞれに御礼の書状とともに上記の龍さんとの小冊子やDVD/CDを送付させていただきましたが、改めて本書面を借りて深謝致したく存じます。本当にありがとうございました。

さらには、懇親会！ここまで来れば、懇親会でも大抵自身が演奏するしかないかつことで、かつ、どうしても懇親会での演奏は食事・歓談をしながらなのでなんとなく演奏者との距離感が生じてしまいます。しかし今回は「懇親会場をライブハウスに変身させる！」を目標に、福山で活動するすごくうまいバンドと岡山のミュージシャンと一緒に「Prof. Otsuki



「衛生学」教室ですので、いわば本丸の学会長もこれで終了、現在、日本衛生学会では、理事や編集委員長も務めさせていただいておりますが、これらも任期終了まで多くの年数は残っていません。大学内でも、2009年から2012年までは学長補佐職を拝命しておりましたが、後継の先生方に主要な役割をお渡しすることも出来、なんとなく残りの研究職人生も余生に近いかな？なんて思ったりしております。逆にある面、原点に立ち戻って、私たちの教室の研究の更なる活性化と発展のために集中したり、教育についても組織のオーガナイズというより担当している領域の中で、工夫を凝らして自分自身がワクワク出来るような制度などを展開していきたくも思ったりしています。

まあ、それよりも音楽活動でしょうか？ 今回の学術総会での開会セレモニーや懇親会 LIVE で、また楽しみが増えました。Work-Life Balance については川崎学園内でも委員会があったりもしますが、No Music, No Life ってことで、Music-Life Balance を考えながら人生を楽しみたいと思っております（あれ、Work がどこかへ行っちゃった？）。

この度は、同窓会からの、そして同窓生の方々からの支援無くしては開催が危ぶまれる程の状況でした。本当にありがとうございました。

